

2024年

曼珠沙華まつり俳句優秀作品

芝 喜久子 選

特選

曼珠沙華只管赤く藪深し

府中市 江藤 征兒

評 一途に赤く咲く花に心を打たれたのでしよう。只管の措辞が利いています。藪深しで赤がより強調され一句を引き立たせました。

群れもよし一花なほよし曼珠沙華

府中市 勝浦 孝夫

評 園は約四十万株の曼珠沙華が咲き誇り見事でした。離れた藪に咲いている一輪にも心を寄せられたのでしよう。人間模様にも感じられる一句。

亀甲竹の節目著けき秋日かな

日野市 西尾 京子

評 茶室の前庭の亀甲竹、秋になると竹は元気を取り戻します。秋日に節目が生き生きと輝くのを発見、様々な物に目を向け描く作者。

曼珠沙華明るき母の笑顔かな

府中市 朱津 正五

評 笑顔になる母親を見て一緒に来てよかったと笑む作者。それとも亡き母親の笑顔を曼珠沙華に重ねての作句か。曼珠沙華が喜びをくれました。

彼岸花祖母の立ち日にはころびて

日野市 福田 邦子

評 綻びる彼岸花を見て、改めて優しかったお祖母さまの立ち日に思いを馳せられ、感慨深い一日。

佳作

曼珠沙華蕊絡んだり解けたり

府中市 西ノ宮 武

木もれ日を浴びて火中の曼珠沙華

府中市 志田 礼子

青空に彼岸花咲く日和かな

府中市 飯田 愛子

人の世に人の優しさ曼珠沙華

日野市 神原 武志

光陰の奔流覚ゆ曼珠沙華

府中市 佐藤 睦

つかまえし飛蝗の顔はムーミン似

八王子市 長谷川典子

もう逢へぬ人を映して曼珠沙華

小平市 宇都宮桃枝

一緒なら寂しくないね曼珠沙華

川崎市 木村 一晃

一石塔一輪白き曼珠沙華

府中市 小室 清恵

喃語の子指さす光の彼岸花

八王子市 北 好夫

(敬称略 順不同)

「芝 喜久子」 府中市在住。

市村完一郎に師事。俳人協会会員。